



10 夜須八幡宮

西山・町分地区の約30人が棒打ちや獅子舞、子どもらが「ホーイ、ヒョヒョイ」と叫びながら歩く『ねり』を奉納します。夜須八幡宮神幸行事は市無形民俗文化財にも指定され、多くの人に親しまれています。

今年は11月11日(日)に開催されました。写真は昨年の様子です。

夜須



余興「車返し」

香我美

9 飛鳥神社

岸本地区にある神社で若一王子宮のお旅所。伝説では平清盛によってお室御前が土佐に流されたとき着いたところで、都をしのんで「飛鳥」と呼んだことから社名になったと言われています。

11月10日(土)御神幸では、先頭に行く太鼓の音に仕事の手を休め、みこしを拜む人の姿が見られました。

お旅所...御神幸のとき、仮にみこしを鎮座しておく場所



11 上夜須八王子宮

上夜須地区の氏神のこの神社は「四つ足」を忌み嫌い狛犬を置かず、祭礼にも獅子舞などは行わず、少年少女の花棒と、青年の20人棒が奉納されています。また、20人棒は市無形民俗文化財に指定されています。

今年は11月11日(日)に開催されました。写真は昨年の様子です。



夜須

香我美



6 海津見神社

夜須川地区の氏神で、古くは竜王宮と称した大海津見神を祭っています。

拜殿にあった絵金の板絵馬などは、平成16年元旦の火災で焼けてしまいました。秋の大祭では歌い手の歌に合わせて地元の小学生が五葉(太刀踊り)を演舞します。

11月4日(日)の秋の大祭では元気な4人の小学生が太刀踊りを奉納しました。「人が減って大人の棒も子どもの棒も打てんなっちゃう。地元で働く若者が少しでも増えれば、『夜須川棒打ち』が復活できるのに」と地元の声もあがりました。



8 若一王子宮

徳王子地区にあり、毎年11月8日に行われる秋の大祭で奉納される「獅子舞」は1,300年の伝統があり、県の無形文化財に指定されています。五穀豊穰・悪疫退散などを祈願し、徳王子地区から選ばれた6人の「若連中」が獅子舞を舞います。

11月8日(木)長さ1mほどのやりを持った天狗が、獅子舞と太鼓の拍子にあわせて激しい動作で踊り、約100人の観客を魅了していました。



5 住吉神社

海の神、住吉大明神を祭る住吉神社の秋祭りには吉川子ども会の「太鼓・獅子舞」が奉納されています。

今年は11月1日(木)に開催されましたが、雨のため「太鼓・獅子舞」は中止になりました。写真は昨年の様子です。



7 大谷神社

大谷神社には、19世紀後半に大谷古墳から運んだという天井石2枚が保存され、1枚は拜殿の靴脱ぎ石に利用されています。神社では夏祭りの夜、神に食事を供える古式「甑」祭が行われています。

11月7日(水)毎年秋祭りの日は雨が降らないというジンクスがあり、総代の恒石眞生さん「昭和60年以降、雨が降ったことがない」と話してくれました。

野市